

平成 30 年度 補助金等の点検の経過について

I 総括事項

(1) 補助金等の点検結果

ア 対象数	198件	
イ 点検結果		
手法変更	0件	
廃止	21件 (10.6%)	(うちH29以降終了 13件)
見直し	44件 (22.2%)	
継続	133件 (67.2%)	

(2) その他

昨年度からの指示事項である「(仮)公募型補助金制度」について、考え方や対象範囲など現在の検討状況を報告し、引き続き制度設計を進めるものとした。(導入想定:H32)

II 取り組みの経過

1 1次評価 (平成 30 年 5 月 30 日～6 月 8 日)

(1) 内容

- ア 所管課による補助金の自己点検
- イ 対象は、平成 29年度に決算額があるもの全て

(2) 評価結果等

ア 対象数	198件	
イ 点検結果		
手法変更	0件	
廃止	20件 (10.1%)	(うちH29以降終了 13件)
見直し	41件 (20.7%)	
継続	137件 (69.2%)	

2 2次評価 (平成 30 年 7 月 5 日)

(1) 内容

- ア 次長・室長による1次評価の検証
- イ 対象抽出(22件)の考え方は裏面を参照

(2) 評価結果等

1次評価		⇒	2次評価	
継 続	20		継 続	19
見 直 し	2		見 直 し	3
廃 止	0		廃 止	0
合 計	22		合 計	22

3 最終評価（平成 30 年 8 月 9 日）

(1) 内容

ア 補助金等適正化委員会(委員長:市長)を開催し、1次・2次評価について政策的な観点から検証を行うことで、各補助金等についての指示事項を定めた。なお、必要に応じて所管課の参加を求めた。

イ 対象は次により抽出(23件)

- ①2次評価において、評価内容や方向性に議論があった補助金(一覧表「★」14件)
- ②見直し指示済み補助金等のうち、対応状況を確認する必要があるもの(一覧表「■」9件)

(2) 評価結果等

上記①に係る最終評価実施分について、下表のとおり評価を決定した。

1次・2次評価		⇒	最終評価	
継 続	12		継 続	8
見 直 し	2		見 直 し	5
廃 止	0		廃 止	1
合 計	14		合 計	14

見直し指示済み補助金等(②)については、現状を確認するとともに、引き続き対象経費の精査や事業補助化など見直しに向けた作業を進めるものとした。

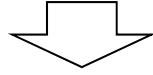
【参考】2次評価対象の考え方

《平成 28 年度》

- 1 ガイドラインでは、補助金額が補助対象経費の2分の1以下であることを基準としていることから、市単独の補助であって、補助金額の割合が補助対象経費の2分の1を超えるもの。
 - 2 ただし、定額補助については、補助対象経費が不明確でガイドラインの基準に合致しているかどうか不明なものが存在したため、28年度2次評価からは除外。
- ※ 定額補助については、補助対象経費について把握可能な資料を備えることとした。

《平成 29 年度》

- 1 下記の条件を全て満たすもの
 - ・市単独の定額補助(定率補助以外の補助金)
 - ・補助金額の割合が補助対象経費の2分の1を超えるもの
- 2 次のものは除外
 - ・28年度の2次評価及び3次評価の対象
 - ・前年度において、最終的な今後の方向性が見直しもしくは廃止となったもの



≪平成30年度≫

- 1 市単独又は国県協調（上乘せ有）の補助金等で、下記のいずれかに該当するもの
 - ① 要綱上又は実際の補助金額の割合が2分の1を超えるもの
 - ② 1次評価の点数が20点未満であるにもかかわらず、今後の方向性が「継続」となっているもの
- 2 ただし、次のものは除外
 - ・28年度、29年度の2次評価及び3次評価の対象として点検済みの補助金
 - ・その他、点検の趣旨に合わないもの
(利子補給金、他会計繰出金、議会政務活動費等)